

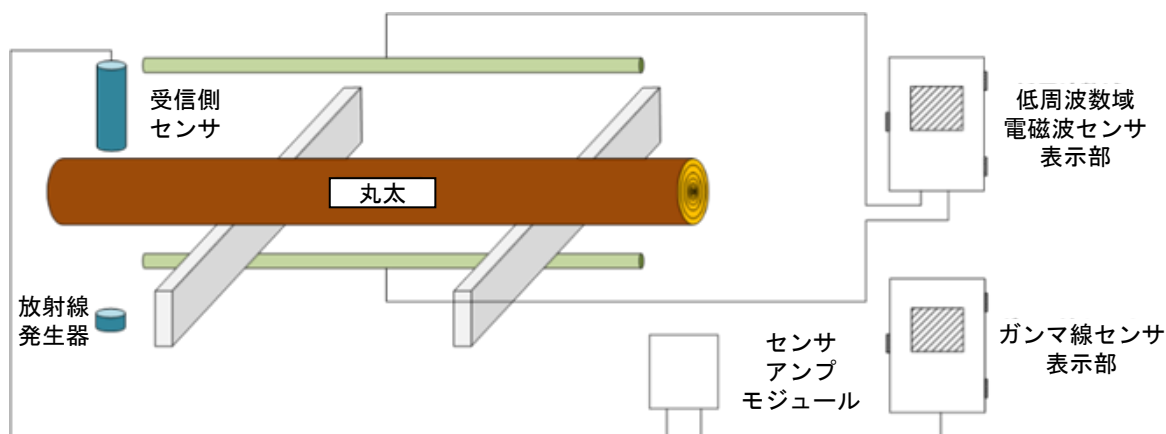
乾燥しやすいスギ大径丸太を区分！

研究課題名：スギ大径丸太の心材含水率を非接触で評価する技術の開発

(平成30～令和2年)

スギの心材は含水率にばらつきがあり、平角材などに加工した場合、人工乾燥後の含水率が目標に達しないことがあります。そこで、丸太の段階で、乾きやすい丸太と乾きにくい丸太を区分する装置を開発しました。

＜開発した丸太の含水率を推定する装置＞



- ・丸太をベルトコンベアに乗せ、低周波電磁波の位相と減衰、ガンマ線の透過数を測定します。
- ・低周波電磁波とガンマ線の測定値は、スギ丸太の心材の含水率との間に有意な相関がありました。
- ・心材含水率が100%以下と推定された丸太から製材・乾燥した平角製材は、含水率が20%以下の比率が高く、この値から丸太を区分することが可能です。

乾きやすい丸太と乾きにくい丸太を区分でき、木材乾燥の効率化が図れます。

【静岡県農林技術研究所（森林・林業研究センター） 森林・資源利用科】
TEL053-583-3121 e-mailFFPRI@pref.shizuoka.lg.jp